



平成20年1月11日

各 位

会 社 名 E・Jホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小谷 裕司
(コード番号 2153 東証第2部)
問合せ先 管理本部副本部長 浜野 正則
(TEL. 086-252-7520)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年7月12日付のお知らせで公表した平成20年5月期(平成19年6月1日～平成20年5月31日)の中間業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年5月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年6月1日～平成19年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	4,300	△1,410	△1,360	△1,300
今回修正予想(B)	3,757	△1,560	△1,437	△1,350
増減額(B-A)	△542	△150	△77	△50
増減率(%)	△12.6	—	—	—
前期実績(平成一年一月中間期)	—	—	—	—

2. 平成20年5月期中間業績予想数値の修正(平成19年6月1日～平成19年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	141	36	6	5
今回修正予想(B)	141	68	38	5
増減額(B-A)	—	32	32	0
増減率(%)	—	89.1	535.9	1.3
前期実績(平成一年一月中間期)	—	—	—	—

3. 修正の理由

当中間期の連結受注高は111億21百万円と計画通りに推移いたしましたが、期首繰越受注残高の減少ならびに当期受注業務の契約工期が下半期に集中したため、売上高が当初見込みより減少し、営業利益、経常利益ならびに中間純利益が予想を下回る見込みであります。

なお、単体におきましては、経営統合に関する諸費用27百万円を当初一般管理費で見込んでおりましたが、臨時的な費用であるため、特別損失として計上する予定でありますので、営業利益、経常利益が前回公表を上回る見込みであります。

当連結グループの売上高は下半期に偏重する傾向があり、通期の業績予想数値につきましては前回公表のとおり変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上